

第1章 午前二時五十分、ウェルズの町はグッタリと暑気の中に沈潜し  
CHAPTER 1 AT TEN MINUTES TO THREE in the morning, the city of Wells lay  
第1章 10分前に、3時の、朝の、町は、ウェルズの、沈潜していた、活気なく、

ていた。 一万一千の住民の大部分はいらいらと寝返りをうっており、寝に就く気にもなれない少数の  
inert, hot and stagnant. Most of its eleven thousand people tossed restlessly; the few who couldn't sleep at all  
暑気とよどみで。大部分は、その11,000人の人々の、寝返りをうっていた、いらいらしながら、少数の人は、少しも眠りにつけな

人々は、息づまるような夜の空気を動かしてくれる微風のかげらすらないのを呪っていた。 八月のカロライナ特有の熱

damned the fact that there was no breeze to lift the stifling effect of the night. The heat of the Carolinas in August  
い、呪った、事実を、わずかの微風さえないことの、取り除いてくれる、息苦しくさせる効力を、夜の。熱気が、カロライナ特有の、八月の、

気が重苦しく空間をみたしていた。 月はなかった。 中心街の街燈の裸電球が

hung thick and heavy in the air. The moon was gone. A few unshaded street lamps in the main business area  
満たしていた、重苦しく、空間を。月は無かった。街燈のいくつかの裸電球が、商業地区の、映しだしていた、黒い

戸をおろした店や、ようやく生き残っている映画館、人けのないガソリン・スタンドに黒い影をうつし出して

pushed hard shadows against the closed stores, the surviving movie theater, and the silent gas stations. At the  
影を、戸をおろした店や、ようやく生き残っている映画館、人けのないガソリン・スタンドに。街角にある、

いる。 町を貫くハイウェイと直角に交わる町角のサイモン薬局では自動空調機が夜陰をふ

corner where the through highway crossed at right angles, the automatic air-conditioner in the Simon Pharmacy was on,  
町を通り抜けているハイウェイと交わっている、直角に、自動空調機が、サイモン薬局の、動いていた、間

るわせて間断なく動いている。 その筋向かいの角に、ウェルズ警察署がただ一台夜間パト

its steady throb purring against the silence of the night. Across the street the one patrol car that the Wells police  
断なく、静けさをふるわせて、夜の。通りの向こう側に、一台のパトロール・カーが、ウェルズ町警察署がパトロールをさせ

ロールをさせている車をとまっていた。

運転手のサム・ウッドは、頑丈な指でボール・ペンを

department kept out all night was pulled up against the curb. Sam Wood, the driver, held his ball-point pen firmly in his  
ている、夜間の、停車していた、縁石に沿って。サム・ウッドは、その運転手の、にぎって、ボール・ペンを、しっかり、頑丈な指

にぎりしめて報告書に記入していた。書類を挟んでおく板をハンドルによせかけて、窓を通してくるわずか

solid fingers as he filled out his report sheet. He braced the official clipboard against the wheel and printed neat block  
で、記入していた、報告書に。彼は、乗せかけていた、署のクリップボードを、ハンドルに、そして、記入していた、几帳面な活字

な明かりをたよりに、きちょうめんな活字体で記入していた。

指示どおり町の住宅地域をもれなく

letters which he could see by means of the dim light that filtered into the car. Carefully he spelled out that he had  
体で、わずかな明かりをたよりに、窓からの、車の。慎重に書き入れた、彼は異常なく終了したこと、もれなく巡察したこと、主だっ

巡察した結果まったく異状がなかった、と慎重に書き入れた。自分の判断を文字にすることにいつも満足感

completed a thorough check of the main residential section of the city, as was required, and that he had found it in  
た住宅地域を、町の、指示されている通りに、そして、彼自身が確認した、まったく異状がなかったと。彼は誇らしく思った、書き

を味わった。

過去三年間、報告書を書くときはいつも、今のこの時間には、町中で自分が一番重

good order. He took pride in setting down his decision. It made him again conscious, as it had for the past three years,  
留めることに、自分の判断を。それは彼に再び意識させた、過去三年間そうであったように、まさにこの時間に、夜の、彼が

要な任務を果たしているのだということをあらためて意識してきた。

記入が終わると、書類

that at this time of night he was the most important man awake and on duty in the entire city. He completed his entry, 目覚めていて任務を果たしている主要な人物である, 町じゅうで。終えて, 記入を, 彼は置いた, クリップボードを, シー

挟みを横において時計に目をやった。

三時になるころであった。ドライブ・インへ行ってコーヒー

put the clipboard on the seat beside him, and glanced again at his watch. It was almost three, time for a break and a トに, 横の, 見た, 再び, 時計を。三時になるころだった, 時間である, 小休止してコーヒーを飲む時間である, ドライ

を飲む時間である。だがこう暑くてはコーヒーは飲めたものではない、なにか冷たいものにしようと考えた。

cup of coffee at the drive-in. But the thick heat of the night made him reject the idea of coffee; something cold would ブ・インで。だが, 夜のこの暑さは, 彼に, 拒絶させた, コーヒーを飲むのを。何か冷たいものもいい。休憩をとるのがいい

今休憩にしようか、それともさきに貧民街をすませた方がいいだろうか？

貧民街を廻ることだけが

be better. Should he take his break now or take a pass first through shantytown, the poor side of town? That was the いか, いま, それとも, 通り抜けるのがいいか, 先に, 貧民街を、町の貧民地域の？ それは最もきれいなことであった, 彼の仕事

この仕事の中でどうにも嫌な部分であった。とって、やらぬわけにはいかない。自分の任務の重要性に思

only part of his job he actively disliked, but it had to be done. Reminding himself again of the importance of his position, で, かれがはっきりと嫌うことだ。しかし, やらないわけにはいかない。思い返して, 再び, 重要性に, 彼の任務の。彼は決

いをめぐらせて、休憩は後にすることにした。

車のギヤをいれると、プロと言えるほど優れたド

**he decided to let the break wait for a bit. He slipped the car into gear and moved it away from the curb with the**  
めた、休憩を遅らせることに。彼は動かした、車を、進めた、舗道へりから、プロの滑らかさで、優れたドライバーの。彼は横切っ

ライバーのみに見られるなめらかな動きですべりだした。

通行の途絶えたハイウェイを横切っ

**professional smoothness of an expert driver. He crossed the highway, deserted in both directions, and bumped onto the**  
た、ハイウェイを、車が走っていない、両方向を見ても。ガタガタと音を立てて入った、デコボコの舗装路に、広がっているニグロ地

て不規則に広がり続けている黒人街のデコボコ道に入った。何か月前、犬を轢いた夜のことを思い出して

**rough pavement of the sprawling Negro district. He drove very slowly, reminded again of the night, months before, when**  
域の。彼は運転した、ゆっくり、思い出して、再び、夜のことを、何か月前の、時を、彼が轢いてしまった、犬を。犬は眠って

ゆっくりと進んだ。犬が車道のまん中で眠っていて、気がついた時には間に合わなかった。路上にしゃがみ

**he had hit a dog. The animal had been sleeping in the street and Sam had not spotted it in time to miss it completely.**  
いたのだ、道のまん中に、サムは気付かなかった、それに、間に合うようには、避けて、犬を、完全に。サムは思い出していた、自分

こんで犬の頭を持ち上げ、思いがけぬ苦痛と信頼の入りまじった懇願するような目に見入っている自分の姿

**Sam pictured himself again, squatting in the street, holding the animal's head and looking into its shocked, pained,**  
のことを、再び、しゃがみこみ、車道に、持ち上げて、犬の頭を、見入っている、その思いがけないひどい痛み、他人を当てにしている許

を思いうかべた。そのまま犬は死んだ。 よく狩猟にも出かけ、物に動じない男と一般に見られていた

trusting, beseeching eyes. Then he had seen death come, and although he frequently went hunting, and was generally  
しを求める目で。 そして、彼は見た、死が訪れるのを。 彼は屢々出掛けただけでも、狩猟に、一般には、見られていたが、気丈な

のだが、その時ばかりは、犬に対する憐れみとその死を招いた悔恨にさいなまれた。 サムは路上

rated a tough man, Sam had been torn by pity for the dog and chagrin that he had caused its death. Sam kept his eyes  
男と、サムは悔恨にさいなまれていた、その犬にたいし、悔しさを抱いた、彼がもたらした、その死を。 サムは目を道路に向け、避け

に注意し、穴をよけながら犬に目を配った。 黒人街を通る短い環状道路を一巡すると、ブレーキ

on the road, avoided the worst of the holes, and watched out for dogs. The short loop through the negro district  
続けた、最悪の事故を、穴によって起こる、目を配った、犬に。 短い環状道路を、黒人街を通っている、とおわり終わると、サムは、ブレー

をかけながらゴトゴトと踏み切りを越えて、ゆっくりと上り道にかかった。 両側に古い、くたびれた、

completed, Sam braked the car over the bumpy railroad crossing and began to roll slowly up a street guarded on each  
キをかけながら、車に、でこぼこの踏み切りを渡り、上り道にかかった、ゆっくりと、守られている、両側に、古い見苦しい、ほとんどペン

ペンキのあとも見えない木造家屋が並んでいた。 白人の貧民街である。金のない者、金の入るあ

side by old, ugly, largely unpainted clapboard houses. This was a poor white neighborhood, a place for those who had no  
キのあとも見えない羽目板張りの家屋で。 これが、貧しい白人たちの地域である、区域である、人たちの住む、金を持っていない、金



てのない者、収入を得る気のない者たちの住む区域である。慎重に路上の穴をよけながらジグザグに上って

money, no prospect of any, or who just didn't care. Sam wove the car up the street, concentrating on missing the holes  
が入る見込みがない、あるいは、単に、金について悩まない。 サムは縫うように進めた、車を、その道を、集中して、見逃さない

いった。                   しばらくして目を上げると、半ブロック先のパーディの家の黄色い光がゆがんだ窓枠の

in the road. Then he looked up and saw, half a block ahead of him, a yellow distorted rectangle of light framing a  
ように、穴を、道路にある。           そして、彼は目を上げた、見た、半ブロックほど先に、彼の、黄色いゆがんでいる長

形をうき立たせているのが見えた。           この時間に明かりがついているのは、急病人があるのかもしれない

window of what would be the Purdy house. A light at this hour could mean a bellyache, or it could mean a lot of other  
方形の光の窓枠が見えた、パーディ家である。           光があるのは、この時間に、意味しているかもしれない腹痛の人がいることを、あ

し、そのほかいろいろな不測の事態がありうる。サムは、夜ひとの家の窓をのぞきこむような人間は大嫌い

things. Sam despised the kind of man who would peer in windows at night, but to a police officer on duty it was a  
るいは、意味しているかもしれない、ほかの何かのことを、サムは、嫌いであった、その種の人を、のぞき込むような、人の家の窓を、夜に、しかし、

であったが、職務中の警官とあれば事情がちがう。近所の住民の目をさまさせないよう静かに車を歩道によ

different matter. He slipped the car over toward the curb so as not to disturb anyone unnecessarily and slowed up  
警察の警官であれば、職務中の、それは事情がちがう。           彼は、静かに寄せた、車を、歩道の縁石に、混乱させないように、誰かを、不必要に、静

せると、朝の三時十五分すぎになぜパーディ家の台所の明かりがついているのかを調べるために車の速力を

enough to check carefully why the light was burning in the Purdy kitchen at three-fifteen in the morning, though he  
かに車を寄せた、調べるために、注意深く、なぜ明かりがついているのか、パーディ家の台所で、3時15分すぎに、朝の、しかし、彼自身は分かっ

おとした。しかし心の中には、見なくてもわかっているのだが、という気持があった。天井のまん中か

thought he knew. The kitchen was lighted by a single unshaded hundred-watt bulb hanging by its cord from the center  
ていた、理由を知っていることが。その台所は、照らされていた、1個の100ワットのはだか電球で、下がっている、コードで、まん中から、

ら下がっている百ワットの裸電球が台所を照らしていた。明け放たれた窓にうすい、くたびれたレースのカー

of the ceiling. The thin, weary lace curtains which stretched, dead and motionless, across the open window did nothing  
その天井の。薄い、くたびれたレースのカーテンが張ってあったが、グッタリと、くたびれた感じで、あけ放たれた窓に、見えないようになっ

テンが張ってあったが、グッタリと垂れ下がったままであった。カーテンをとおして明るい台所の中が丸見

to screen the view of the bright interior. There, plainly in view, her back turned, was Delores Purdy. As on the two  
てはいなかった、中のものを、明るい台所の。そこには、はっきりと見えた、彼女が背中を向けて、デロレス・パーディだった。二度

えであった。デロレス・パーディがこちらに背中を向けて立っている姿がはっきりと見えた。ここ二、三週

previous times this had happened during the past few weeks, she wore no nightgown. Exactly as the patrol car reached  
見かけたのだ、このことがあった、過去2・3週間に、彼女は着ていなかった、ナイトガウンを、まさに、パトロールカーが達したときに、箇所、



間に二度あった時と同じように、彼女はナイト・ガウンを着ていなかった。 パトロール・カーが窓の外

a point opposite the window, Delores lifted a small pan off the stove, turned around, and poured the pan's contents into  
窓の外、デロレスは取り上げた、小さな鍋を、ストーブから、こちらを向いた、そそいだ、鍋の中身を、ティー・カップに。 サムは、全部

に達した瞬間に、デロレスはストーブから小さな鍋を取り上げてこちらを向くと、中身をティ・カップに注

a teacup. Sam had a full view of her sixteen-year-old breasts and the agreeable curve of her youthful thighs. Something  
を見た、彼女の16歳の両胸と好ましい曲線を、彼女の若さに満ちた大腿部の。 何かが、デロレスの、しかし、不快な感じを抱かせた、彼

いだ。サムの目に十六歳の胸と若さに満ちた腿のきれいな曲線がとびこんで来た。しかしデロレスの持つ何

about Delores, however, repelled him, and not even the sight of her naked body held any great interest. The reason, he  
に。 そして、見てさえ、彼女の裸のからだを、なにも興味を抱かせないと思った。 その理由は、彼は想像した、彼女がいつも貧しくて裸

かが彼に不快感を感じさせた。その裸身すらなんの興味もかきたてない。想像するに、彼女が常に不潔であ

guessed, was that she was always unwashed, or seemed to be. When Sam saw her raise the cup to her lips he knew  
を洗っていない、あるいは、そう思わせるからだ。 見たときに、サムは彼女がカップを口元へ運ぶのを、彼にはわかった、誰も病気ではない

るからであろう。少なくともそういう印象を与える。彼女がカップを口元へ運ぶのを見て、誰も病気ではな

that no one was ill and turned his eyes away. For a moment he contemplated warning her that she was on public view,  
と、だから、反らせた、彼の目を。 一瞬、彼は考えた、警告しようと、彼女に、彼女が表から丸見えであると、しかし、決めた、そうしないこ

いと判断し、目をそらせた。一瞬、表から丸見えであることを知らせてやろうかと考えたが、この時間にノック

but he decided against it because a knock at that hour might wake the whole household of kids. And what was more, she  
とを、というのは、ドアをノックすることが、この時間に、起こしてしまうかもしれないと、家中の子供たちを。 それに、ほかにも考えら

クをすれば家じゅうの子供たちを起こすようなことになりかねない、と思い止まった。それに彼女にしても

couldn't very well answer the door with no clothes on. Sam turned at the next corner and headed back toward the  
れることは、彼女は応答できそうにもないことだった、ドアのノックに、衣服を着けないままでは。 サムは、まがった、つぎの角を、向

裸同然の姿ではノックに応ずることもできないであろう。サムは次の角をまがってハイウェイの方に向かっ

highway. Despite the lack of any visible traffic, Sam made a full stop at the intersection and then turned north. He let  
かった、ハイウェイの方へ。 何もなかったけれど、目に見える車の動きは、サムは完全に停車した、交差点で、そして向かった、北へ。

た。 見渡すかぎり人も車も動いていなかったが、それでも交差点で完全に停車したのち北に方向を転じ

the car gain speed until the hot air that was forced in the open windows created the illusion of a breeze. Then for three  
彼は車の速度を上げた、熱い空気でも感じられるように、明けた窓から入ってくる、作り出すように、幻想を、涼風のような。 そして、

た。次第に車の速度を上げると、窓から入ってくる熱気が涼風のように感じられた。市の境界線が見えるま

minutes he held the pace until the city limits were in view. He lifted his foot off the gas, crossed the boundary line, and  
3分間、彼は維持した、その速さを、所まで、市の境界線が見えてくる。 彼は車のアクセルから足を放し、越えて、境界線を入れた、車を、

で三分間そのままスピードを維持した。やがて速度を落として境界線を越え、終夜営業のドライブ・インの

swung the car easily into the parking area of the all-night drive-in. He climbed out smoothly for a man of his size and  
楽に、駐車場に、一晩中営業しているドライブ・インの。彼は車から降りた、身軽に、一人の男としては、身体のサイズが大きい、そして彼は押し込んでいった

駐車場に車を入れた。大きな図体に似合わず身軽に車から降りて、レストランに入って行った。 中

pushed his way into the restaurant. It was hotter inside than out. The center of the room was filled by a U-shaped  
そのレストランに。 レストランは暑かった、中は、外より。 中央に部屋のあった、U字型のカウンターがカーされている、フォーマイカ(商標、テーブルな

は外より暑かった。部屋の中央部に合成樹脂板を張ったU字型のカウンターがある。部屋の片側の壁に沿っ

counter covered with worn Formica. Down one side a row of hard plywood booths promised no comfort and little  
どの表面に塗る合成樹脂塗料) で。 片側には、一列に合板で囲まれたブース (仕切られた席) があり、居心地が悪そうだったし、私的な自由を持てそうに

て合板で囲まれたブース席が一列に並んでいる。囲みが人目をさえぎるわけでもなく、居心地の悪そうな席

privacy. In one window a totally inadequate air-conditioner pounded out a thin stream of cool air that vanished unfelt  
ない感じだった。 窓の一つで、およそ役に立ちそうもないエアコン機が一台ついていて、打ち出していた、わずかな流れを、冷たい空気の、

であった。窓の一つで、およそ役に立ちそうもない小さな空調機が一台廻っていた。冷気は数インチも動か

inches from the vent where it was born. The wood walls had been painted an off white at one time; the paint had  
消えてしまった、感じられなくなって、数インチほどで、噴気孔から、冷気が出てくる。 木の板ばりの壁は、かつて塗られていたであろうが、

ないうちに熱気に吸収されている。板張りの壁はかつてまっ白に塗ってあったのだろうが、年月とともに黄

**yellowed with age. Above the grill the black stain of hot grease vapor made a permanent monument to thousands of**  
白い色で、過去に、そのペンキは黄色になっていた、年月のあいだに。調理器の上の壁などが、まっ黒な汚れで、油の蒸気の、現れていた、

色と化していた。調理器の上の天井に油がまっ黒く張りついている。何千人かの間人が注文し、食べ、忘れ

**short orders that had been cooked, eaten, and forgotten. The night counterman was a thin nineteen-year-old whose too**  
長年の記念物となって、何千人かの小さな注文の、調理され食べられ忘れ去られた。夜のカウンター担当の男は、痩せた十九歳の若者であっ

去った料理の残骸のようであった。夜勤の男は十九歳の痩せた若者であった。うすよごれたシャツの袖

**long arms thrust below the cuffs of his soiled shirt as though they had been stretched by some infernal machine. His**  
た、彼のとても長い両腕は、はみ出していた、袖口の下に、うす汚れたシャツの、まるで両腕が引き伸ばされたように、なにかの我慢ならない機械

口から、なにか恐ろしい機械にかけて引き伸ばしたような長い腕がはみ出している。細長い骨張った顔に

**sharp, bony face still showed the signs of acne, his lower lip hung slightly open as though he were either accustomed to**  
にかけられたような。細長い骨張った顔には、まだ、有った、にきびのあとが、下唇がいつもわずかに垂れ下がっていた。しじゅう唇

きびのあとが残っており、下唇がいつもわずかに垂れ下がっていた。始終人に向かって唇をつきだし、反抗

**thrusting it out at people as a gesture of defiance or didn't know how to make up his mind. At the moment Sam**  
をつきだし、人に向かって、身ぶりであり、反抗の、知らないようだった、決めかたを、自分の意思の。時に、サムが入って行った、男は

を示している性絡のせいであろうか。何事にも決断をつけることのできない愚鈍さをも感じさせた。サムが

**entered, he was jackknifed across the counter, resting his weight on his elbows, and appeared completely occupied by**  
V字型に折れ曲がって、カウンターと交差して、乗せていた、からだ全体を、両肘に、引き込まれているようだった、完全に、荒々しい漫画本に、

入って行った時、男はカウンターに張り付くような恰好で肘をついて、目の前の漫画本の暴力シーンにくい

**the violent comic book he had open before him. In the presence of the law, he quickly slid his reading matter under the**  
開いて見えていた、彼の前に。 現われたので、警官が、彼は素早く入れた、読んでいた物をカウンターの下に、ぴんと伸ばした、狭い両肩を、

いるように見入っていた。 警官の姿を見ると、読み物を素早くカウンターの下に入れて姿勢を正し、瘦

**counter, squared his narrow shoulders, and prepared himself for the coming minutes he would spend with the guardian**  
備えた、何十分かの時間に応ずる、彼が過ごす、警備する警察官と、この眠っている街を。 彼は、手を伸ばした、厚手のコーヒーマグに、

せた肩を張ってこの夜勤担当の警官の注文に応ずる準備を整えた。カウンターの前の腰掛けで原形を留めて

**of the sleeping city. He reached for a thick coffee mug as Sam sank onto one of the three remaining counter stools**  
サムが座ると、一つに、三つの辛うじて使われているカウンターの前の腰掛けの、布で被われている椅子が無傷のままの状態。 「コー

いるのは三つしかなかった。サムがそのうちの一つに腰を下ろすと、若者が分厚いコーヒー・カップに手を

**whose upholstered tops were still intact. "No coffee, Ralph, it's too hot," Sam said. "Give me a king Coke instead." He**  
ヒーはいらない、ラルフ、今日は暑すぎる」 サムが言った。 「呉れ、コーラの大きいのを、代わりに」 彼は

伸ばした。「コーヒーはいらない、ラルフ、暑すぎる」サムが言った。「キング・サイズのコカ・コー

took off his uniform cap and drew his right arm across his forehead. The night man scooped a scratched glass half full  
脱いだ、制帽を、ぬぐった、右腕で、ひたいのあたりを。夜勤の若者は、すくい入れた、傷だらけのグラスに、半分ほど、かき氷

ラにするよ」制帽を脱ぎ、右腕でひたいのあたりを拭った。若者は、傷だらけのコップにかき氷を半分

of shaved ice, uncapped a bottle, and filled the glass up with liquid and foam. When the drink had settled down, Sam  
を、瓶の栓を抜き、満たした、グラスに、コーラと泡を。コーラの泡が落ち着くと、サムは飲み干し、噛み砕いた、氷のかけらを、

ほどすくい入れると、瓶の栓をぬいてコップに注いだ。泡が落ち着くと、サムはひと息に飲み干し、氷

emptied the glass, chewed a sliver of ice into liquid, and then asked, "Who won the fight tonight?" "Ricci," the  
そして男にたずねた。「どっちが勝ったんだ、今晚のボクシングは？」「リッチだ」カウンターの若者が答えた、すぐに。「判

のかけらを噛み砕いた。そして男にたずねた。「今晚のボクシングはどっちが勝ったんだ？」「リッチだ」

counterman answered immediately. "Split decision. But he still gets a shot at the title." Sam refilled his glass and  
定が割れたけど、とっただしよ、挑戦権は」サムは自分で一杯にした、グラスを、飲み干した、再び、彼が意見を言う前に。「良

若者がすぐさま答えた。「判定が割れたけど、挑戦権はとっただしよ」サムは黙ってコップをいっぱい

drained it once more before he offered an opinion. "Good thing Ricci won. I don't go much for the Italians, but at least a  
かったよ、リッチが勝って、あまり好きじゃないが、イタリア人は、しかし、少なくとも白人が挑戦権をとったんだからな」カウ



にすると、また飲み干した。「リッチが勝ってよかったよ。イタリア人はあまり好きじゃないが、少なくとも

**white man gets a chance at the title.” The counterman nodded in quick approval. “We got six black champs now, all the**  
ンターの男はうなずいた、賛同して。 「六階級は黒人のチャンピオンだ、今はね、上の方の。 分からないね、奴らはどうして

も白人が挑戦権をとったんだからな」 カウンターの男は、そのとおりだとうなずいた。「今じゃあ、上

**top divisions. I don’t see how they can fight that good.” He pressed his hands against the counter and spread his bony**  
あんなに強いのか」 彼は、押し当てて、両手をカウンターに、ひろげた、骨ばった指を、無駄な試みをした、それが見えるように、

の方の六階級は黒ん坊のチャンピオンだからね。奴らはどうしてあんなに強いのかねえ」手をカウンターに

**fingers in a futile attempt to make them look strong and powerful. He looked at the thick hands of the policeman and**  
強くて力のあるように。 彼は、見ながら、警官の頑丈な手を、考えた、彼自身の手もあのようなになるだろうか。 サムは、自

押し当てて骨張った指をひろげていた。少しでも力強く見せようとしている風であった。警官の頑丈な手を

**wondered if he would ever have hands like that. Sam helped himself to an orphan piece of cake that leaned under a**  
分で、ケーキを取った、一つだけ残っていた、傾いて、曇っているプラスチックの入れ物に、カウンターの上の。 「奴らは、感じ

見ながら、自分の手もいつかはあんなになるだろうか、と考えた。 サムはカウンターの上の入れ物にたっ

**clouded plastic cover on the counter. “They don’t feel it when they get hit the way you or I would,” he explained. “They**  
ないんだ、なぐられた時に、お前やおれのように」彼は説明した。 「俺たちとは、違うんだ、神経系統が。 奴らは、動物と

た一つ残っているケーキを取った。「奴らはなぐられた時、お前やおれのように感じないんだ。神経系統が

haven't got the same nervous system. They're like animals; you've got to hit 'em with a poleax to knock 'em down, 同じなんだよ。ぶん殴るしかないんだ、斧で、奴らをノックアウトするには。本当に。実際のところ、奴らは勝ってき

おれたちとちがうんだな。動物と同じなんだよ。奴らをノックアウトするには斧でぶんなぐるしかないんだ。

that's all. That's how they win fights, why they're not afraid to get in the ring.” Ralph bobbed his head; his eyes said たし、怖くないんだよ、リングに上がるのが」ラルフは、しきりにうなずいていた。目が告げていた、サムが宣言していると、締

だから奴らは試合に勝つし、リングに上るのがこわくないんだよ」ラルフはしきりにうなずいていた。

that Sam had pronounced the last word on the subject. He straightened the cake cover. “Mantoli was in town tonight. めの言葉を、このテーマについて。彼は直した、ケーキの入れ物のふたを。「マントリが町に来ていた、今晚。連れて来

目が、まったくサムの言うとおりの、と同意していた。彼はケーキの入れ物のふたを直した。「マントリが

Brought his daughter with him. A real looker, I hear.” “I thought he wasn't due until after the first.” The counterman た、娘も。たいへんな美人だと、話じゃ」「思っていた、彼は来ないだろうと、来月にならなければ」若者は体をのりだした、

今日町に来ていたよ。娘もいっしょだった。人の話じゃあ、すげえ美人だって」「来月にならなければ来

leaned forward, rubbing the counter with a grayed and soggy rag. “It cost more than they figured it would to finish up カウンターをふきながら、使い切ったびしょびしょのぼろ切れで。「金がかかるようだ、予定していたよりも、完成するには、音楽堂

ないんじゃないのか」 若者は、汚れた雑巾でカウンターをふきながら体をのりだした。「野外音楽堂

the bowl. Now they figure if they're going to repay the grant in time, they're going to have to charge more for the  
を。 それで、想像しているようだ、主催者が返済するには、助成金を、期限内に、彼らは上げなければならない、入場料

を完成するのに、思ったより金がかかるらしいんだ。だから、借金を返すためには入場料金を上げるしかな

tickets. I hear Mantoli came to town to help them figure out how much people would be willing to pay.” Sam poured the  
を。 マントリは、料金をいくらまで上げられるか、相談にのるために来たってことだぜ」 サムはコークの残りをコップ

いらしいよ。マントリは、料金をいくらまで上げられるか、相談にのるために来たってことだぜ」 サ

last of the bottle of Coke into his glass. “I don't know,” he commented. “This thing may go over all right, or it may turn  
にあけた。 「どういうことになるかな」 彼は言った。 「万事うまくいくかもしれんし、大失敗に終わるかもしれん。

ムはコークの残りをコップにあけた。「どういうことになるかな。万事うまくいくかもしれんし、大失敗に

out the flop of the century. I don't know anything about classical music, but I can't see crowds of people flocking here  
おれはクラシック音楽のことはなんにも知らんが、マントリが指揮をするというだけのことで大勢の人間がここへやって来

終わるかもしれん。おれはクラシック音楽のことはなんにも知らんが、マントリが指揮をするというだけの

just to hear Mantoli lead a band. I know it's a symphony orchestra and all that, but the people who like that sort of  
るとは思えんな。 交響楽団だとか、そんなことはわかっているが、そんな音楽の好きな連中は、なにもこんな所へ来て固

ことで大勢の人間がここへやって来るとは思えんな。交響楽団だとか、そんなことはわかっているが、そんな

thing can hear the same orchestra all winter long without having to come down here and sit on hard seats to do it. And  
い椅子に坐らなくたって、一冬じゅう同じ音楽が聞けるんだ。 雨でも降ったらどうするんだ」 コップを飲み干すと時計

な音楽の好きな連中は、なんにもこんな所へ来て固い椅子に坐らなくたって、一冬じゅう同じ音楽が聞けるん

what if it rains.” He gulped the glass empty and glanced at his watch. “Yeah. What about that. I don’t care about music  
に目をやった。 「まったくだ。 どうなるんだか。 おれも音楽はあんまり好きじゃないし、そんな高級なのは縁が

だ。雨でも降ったらどうするんだ」コップを飲み干すと時計に目をやった。 「まったくだ。どうなるんだか。

neither, at least not that long-hair kind,” Ralph agreed, “but I say if it can put us on the map like they say it can, and  
ねえが」ラルフが同調した。 「でも、連中が言うように、それがうまくいってこの町が有名になって、観光客が来て金を落として

おれも音楽はあんまり好きじゃないし、そんな高級なのは縁がねえが」ラルフが同調した。「でも、連中が言

bring in tourists with money to spend, maybe they’ll get this joint fixed up and we’ll all live a little higher on the hog.”  
いくようなことになりゃ、ここだって修理してくれるだろうし、みんなの生活も少しはよくなるかもしれねえな」サムが立ち上がった。

うように、それがうまくいってこの町が有名になって、観光客が来て金を落としていくようなことになりゃ、

Sam got up. “How much?” he asked. “Fifteen cents, the cake’s on the house, it was the last piece. Have a nice night,  
「いくらだ？」「十五セント。 ケーキはおまけだ、残りもんだから。 お休み、ミスタ・ウッド」サムは二十五セントおいて外に

ここだって修理してくれるだろうし、みんなの生活も少しはよくなるかもしれねえな」 サムが立ち上がった。

Mr. Wood.” Sam laid down a quarter and turned away. Once the counterman had dared to call him Sam. He had given a cold stare of disapproval and it had done the job. It was “Mr. Wood” now, and that was the way Sam wanted it. He

出た。 以前に、カウンターの男が生意気にも言った、彼を、サムと。 サムが与えたのだった、冷たい睨みつけを、不承知の、それ

た。「いくらだ？」 「十五セント。残りもんだからケーキはおまけだ。お休み、ミスタ・ウッド」 サムは役立ったのだった。 「ミスタ・ウッド」となったのだ、それである、サムが望んでいたことだ。 彼は車にもどり、短く無線で署に

ムは二十五セントおいて外に出た。いつだったか、カウンターの男が生意気にも、サム、と言ったことがあ

climbed back into his car and reported briefly by radio before starting down the highway back into town. He settled in his seat, ready for the monotony that would make up the last part of the night. The air was thick again as the car

連絡した、町に向かう前に、ハイウェイを、無線で署に連絡をしておいた。 彼は、納まった、座席に、気持ちになった、向かう、単調

る。サムが相手をジッとにらみつけてやったら、たちまち態度が変わったものだ。今では、「ミスタ・ウッド」

his seat, ready for the monotony that would make up the last part of the night. The air was thick again as the car

な仕事に、それはなる筈の、最後の部分に、この夜の。 外気は熱く澱んでいた、変わりなく、車のスピードを上げていたが。 初め

と言い、サムの望むところであった。車にもどると、ハイウェイを町に向かう前に無線で署に連絡をしてお

gained speed. For the first time since he had come on duty, Sam allowed himself to damn the pressing heat that

てだった、彼が勤務についてから、サムは呪う気持ちになった、押しつぶされる暑さに、告げている、焼けつくような熱さの日を、あと

いた。座席に身を落ち着けると、夜明けまでの単調な仕事に立ち向かう心構えにもどった。車のスピー

**promised a scorching day to follow. And that meant another hot night tomorrow, and perhaps another one after that.**  
も続く。それは意味している、もう一つの熱い夜だ、明日も、多分に、暑い夜がくる、更にその後に。サムは、速度を下げた、車の、

ドを上げたが、相変わらず澱んでいるような熱気であった。勤務について以来初めて暑さを呪った。この暑

**Sam slowed the car as the central area loomed ahead. The night was still deserted, but Sam drove slowly through the**  
町の中心街が見えてきたので。この夜もいつものように人影はなく、しかしサムは運転した、ゆっくり、小さな中心街では、習慣になっ

さでは明日もまた暑いことだろう。ということは、明日の晩も暑く、こんな暑さがしばらく続くにちがいない。

**small downtown district as a matter of habit. He thought again of Delores Purdy. She would get married pretty young,**  
ていて。彼は思った、再び、デロレス・パーディのことを。彼女は結婚するだろう、年若いうちに、彼は確信した、どこかの男が

中心街に近づくにつれて速度を下げた。人影もなくガランとしていたが、習慣で小さな中心街を通る時はゆっ

**he decided, and somebody would have plenty of fun rolling in the hay with her. It was then, a full block ahead, that he**  
たくさんの楽しいことを、セックスして楽しむだろう、彼女と。その時、一ブロック先に、彼は見た、何かが横たわってい

くり走った。またデロレス・パーディのことが頭に浮かんだ。あの調子では年若いうちに結婚して、どこか

**saw something lying in the road. Sam touched the gas pedal and the car spurted ahead. In the path of the four**  
るのを、路上に。サムはアクセルを踏んだ、車はスパートした。光の中で、四個のヘッドライトの、目標物が



の男を大いによろこばせてやるにちがいない。その時、一ブロック先の路上に何物かが横たわっているのが

**headlamps the object grew larger until Sam braked the car to a stop in the middle of the street a few feet in front of**  
だんだん大きく見えてきた、サムはブレーキを踏んで車を停めた、まん中に、道の、数フィート手前で、今は人間と分

目に入った。 アクセルを踏むと車がサッととびだした。四個のヘッドライトの光の中で目標物がだんだ

**what he could now see was a man sprawled on the pavement. He snapped the red warning lights on and swung quickly**  
かる、手足を伸ばした姿勢で横たわっている、舗道に。 彼は点け、赤い警告灯を、急いで降りた、車から。 彼

ん大きく見えてきた。舗道にながながと横たわっている人間の姿の数フィート手前で、道のまん中に車を停

**out of the car. Before he bent over the man, he first looked quickly about him, his hand on his holstered .38, ready for**  
は、かがみこむ前に、その男を調べに、彼はまず警戒の目を配った、男の周辺に、手をかけた、腰の拳銃に、とっさに

めた。警告用の赤ランプをつけると素早く車から降りた。倒れた姿の上にかがみこむ前に、周囲に警戒の目

**instant action. He saw nothing but the silent buildings and the hard pavement stretching out in both directions. Satisfied**  
行動できるように。 何も見えなかった、静かに佇んでいる建物と、しっかりした舗道のほかには、両方向に伸びて

を配り、とっさの行動にうつれるよう腰の拳銃に手をかけた。静かに佇んでいる建物と前後に延びて行く剣

**momentarily, Sam dropped down on one knee beside the man in the street. He was lying on his stomach, his arms above**  
いる。 心配はない考え、当面は、サムは片膝をついた、男のそばに、道路上の。 男は横たわっていた、腹這いで、

道のほかはなにも見えなかった。当面心配はないと見きわめて、路上の男のそばに片膝をついた。 男は

his head, his legs sprawled apart, and his face turned to the left so that his right cheek was pressed against the heavily  
両腕を頭上に伸ばし、脚をひらいていた。 顔が向いていた、左に、だから、右の頬を押し付けていた、すりへった

腹這いになって両腕を頭上に伸ばし、脚をひらいていた。顔が左に向いていて、右の頬をすりへったコンク

worn concrete. He had abnormally long hair, which covered the back of his neck and then curled where it brushed the  
コンクリートに。 頭髪が異常に長く、それが覆っていた、首の後ろを、そして、カールしていた、触れるあたりで、襟に、上衣の。

リートに押しつけていた。頭髪が異常に長く、首の後ろをおおって、上衣の襟のあたりでカールしていた。

collar of his coat. Beside him, five or six feet away, a silver-handled walking stick looked strangely helpless on the hard  
彼の脇に、五・六フィート離れたところ、銀の握りのついたステッキが、転がっていた、妙に頼りなげに、道路上に。 サムは差し

男から五、六フィート離れたところに、銀の握りのついたステッキが妙に淋しげにころがっていた。 サ

roadway. Sam slipped his left hand under the fallen man and tried to feel for a heartbeat. Despite the sweltering heat,  
込んだ、左手を、下に、倒れている男の体の、感じるか試した、心臓の鼓動を。 うだるような暑さにもかかわらず、男は着ていた、チョッ

ムは左手を男の体の下にさしこんで、心臓の鼓動を探った。うだるような暑さにもかかわらず男はチョッキ

the man was wearing a vest tightly buttoned; through it Sam could detect no evidence that the man was alive. Then he  
キを、キチッとボタンをかけて。 チョッキを通して、サムは感じた、証拠はないと、男が生きているという。 その時、彼は

を着て、キチッとボタンをかけていた。チョッキを通しての感じでは生きているという証拠はなにもなかった

**remembered what he had read about apparently dead bodies. Sam had not had any special course of training for his job;**  
思い出した、読んでいたことを、一見死体と見える人体について。 サムは、受けていた訳ではなかった、何か特別なコースを、

た。その時、一見死体と見える人体について読んだことを思い出した。サムはこの仕事のために特別訓練を

**he had simply been put on the payroll, had been briefed for a day on his new duties, and then had gone to work. But as**  
訓練の、この仕事のために。 彼は要するに、採用され名前が載り、給与支払い表に、説明を受けた、まる一日、新しい任務につ

うけているわけではなかったたんに採用されて、給与支払い表に名をつらね、職務に関して一日説明をうけ

**instructed, he had studied the civic, county, and state codes and had read the two or three textbooks made available at**  
いて、そのまま仕事についた。 しかし、指示されたように、彼は読んだ、市・郡・州の法規集を、読んでいた、2・3冊の教本を、

て、そのまま仕事についたただけである。しかし、指示されたように、市、郡、州の法規集を読み、小さな署

**the small headquarters building. Sam had a good memory and the information he had absorbed came back to him now**  
利用可能な、小さな署の本部の建物にあった。 サムは記憶は良かった、知識は、彼が吸収した、思い出された、彼に、

の建物においてある教範を二、三冊読んではいた。もともと記憶のいい男で、今も必要に応じて以前に読ん

**in the moment of need. Never assume that a person is dead until he has been so pronounced by a physician. He may**  
今も、必要な時に。 想定してはならない、一人の人間が死んでいると、医師によって宣告されるまでは。 その人は失

だことが思い出された。 医師によって宣告されるまでは、人間が死んでいると想定してはならない。

**have fainted, been stunned, or be unconscious for any of several other reasons. Persons suffering from insulin shock**  
神しているかも、気絶しているかも、あるいは意識不明に陥っているのかもしれない、ほかの幾つかの理由によって。 人が、インシュ

失神、気絶、あるいは他の種々な理由によって意識不明に陥っているのかもしれない。インシュリンでショッ

**have often been mistaken for dead and in some cases have revived after having been taken to morgues. Unless a body**  
リン・ショックを受けた、間違えられた例はよく有る、死人と、ある例では、息をふきかえした例もある、持ち込まれたあとに、死体収容

クを受けた者が死人と判断された例は多く、中には死体収容所で息をふきかえした例もある。人体が非常な

**has been so mutilated as to make survival impossible, such as decapitation, always assume that the person is living**  
所に。 場合でなければ、人体が非常な損傷を受けている、生存が不可能である、たとえば首がないというような、常に想定すべきで

損傷を受けていて、たとえば首がないというように生存がまったく不可能な場合とか、明らかに生命の存在

**unless decomposition has taken place to the point where life could not possibly exist. Sam moved quickly back to his**  
ある、人は生きている、腐敗が生じている、度合いまで、生命が存在しえない。

が不可能であるような腐敗を生じている場合のほかは、生きているものと想定すべきである。 サム

**car and picked up the radio microphone. At this hour he did not bother to use official language, but spoke quickly and**

サムは急いで、戻った、車に、取り上げた、無線電話のマイクロフォンを。 この時間では、拘らなかつた、使うことに、公式な用

は急いで車にもどると無線電話のマイクを取り上げた。相手が応答すると直ちに、公用語にこだわらず、明

clearly as soon as his call had been acknowledged. "At the corner of Piney and the highway, approximately, man in the  
語を、話した、迅速に、明確に、すぐに、彼の呼びかけが返答されると。 「交わる角で、パイニー通りとハイウェイの、おおよそで言っ

白、迅速に報告をした。 「概略ハイウェイとパイニー通りの交差点で、男が道路に倒れており、死んで

road, appears to be dead. No evidence of anyone else nearby, no traffic for several minutes. Send the doctor and the  
てます、男が道路に倒れており、考えられる、死んでいると考えられる。 状態ではなく、誰かが近辺にいる、通行もなかった、ここ数

いるものと考えられる。近所に人影はなく、ここ数分間は通行まったくなし。直ちに医師と救急車を派遣し

ambulance right away." As he paused, Sam wondered for an instant if he had used the proper language in reporting in.  
分間に。 派遣してくれ、医師と救急車を、直ちに」 言い終わってから、サムは思案した、しばらくの間、使っていただろうかと、適

てくれ」 言い終わってから、サムは報告に使った言葉が適当であっただろうかと思案した。まったく初

This was something new to him and he wanted to handle it properly. Then the voice of the night operator snapped him  
切な言葉を、この報告で。 これは新しい経験だった、彼の、そして、彼は望んでいた、取り扱ったことを、適切に。 すぐに、声が、

めての経験であるので、落ち度なく処理したいものだと思った。その時、夜勤交換手の声で我に帰った。「そ

out of it. "Stand by. Any identification of the victim?" Sam thought quickly. "No, not yet," he replied. "I never saw this  
夜勤交換手の、彼を、我に帰した。 「その場で待機しておれ。 識別できるものはあるか、被害者を？」 サムは頭を働かせた、急

の場で待機しておれ。被害者の識別は？」 急いで頭を働かせた。「いや、まだだ。自分の知る眠りでは

man before to my knowledge. However, I think I know who he is. He has long hair, wears a vest, carries a cane. A small  
いで。「いや、まだない」彼は答えた。「私は見たことがない、この男を、私の知っている限りで。しかし、思っている、知っ

見たことのない男だ。頭髪が長く、チョッキを着ていて、ステッキを持っている。小柄で、身長五フィート

man, not over five feet five.” “That’s Mantoli,” the operator exclaimed. “The conductor. The man in charge of the  
っていると、誰だかを。彼は髪の色が長く、チョッキを着ていて、ステッキを持っている。小柄で、身長五フィート五インチ程度だ」

五インチ程度だ」 「そりゃ、マントリだ」交換手が叫んだ。「指揮者で、こんどの音楽祭の中心人物だ。万一そいつが彼で、

festival. If that’s him, and if he’s dead, this could be one awful mess. Repeat, stand by.” Sam pressed the mike onto its  
「そりゃ、マントリだ」交換手が叫んだ。「指揮者だ。中心人物だ、こんどの音楽祭の。万一それが彼で、死んでいるとすると、たい

死んでいるとするとたいへんなことになるぞ。くり返す、その場で待機せよ」 サムはマイクを受け台にもどすと急ぎ足で倒

clip and walked quickly back to the fallen man. It was only nine blocks to the hospital and the ambulance would be on  
へんなことになるぞ。くり返す、その場で待機せよ」サムは戻した、マイクを受け台に、行った、急ぎ足で、戻って、倒れている男のとこ

れている男のところへ行った。病院まではわずか九ブロックの距離で、五分もたたないうちに救急車が来るであろう。サムはも

the scene within five minutes. As Sam bent over the man once more, he remembered the rundown dog, but this was  
ろへ。わずか九ブロックの距離しかないのに、病院までは、救急車が来るだろう、五分もたたないうちに。時に、サムはかがみ込んだ、



う一度男の上にかがみこんだ。その時、自分が轢いた犬のことを思い出した。だが、こちらの方は犬どころの問題ではなかった。

**infinitely worse. Sam reached out his hand and laid it very gently on the back of the man's head, as though by his touch**  
男の上に、もう一度、彼は思い出した、轢いてしまった犬のことを、しかし、これは限りなく重大なことだ。 サムは伸ばした、手を、乗せた、

サムは手を伸ばして、ソーッと男の後頭部にのせた。自分が触っていることによって相手の気持が安らぐと考えているようであっ

**he could comfort him and tell him that help was coming quickly, that he would only have to lie on the harsh pavement**  
たいへん穏やかに、後頭部に、男の頭の、まるで彼が触ることで、確かめ伝えることが出来ると、救助がすぐ来ると、だからこの男は少し横になっ

た。もうすぐ助けが来る、路上に寝ているのもあと二、三分のことだ、それまでは側についているぞ、と告げている気持であった。

**for two or three minutes more, and that in the meantime he was not alone. It was while these thoughts were running**  
ていれはいい、荒い舗装の上に、あと2・3分間だけ、その間は、彼は一人ではないのだと。 そのような考えを思っているときに、彼の気持

そんなことを考えているとき、自分の指の上にネバネバしたものがふき出ているのに気がついた。ハッとして、思わず手をひっ

**through his mind that Sam became aware that something thick and sticky was oozing against his fingers. With a quick involuntary motion**  
ちで、サムは気が付いた、何か、べったりしネバネバした、しみ出ている、彼の指のあいだに。 速い無意識の動作で、彼は手をひっこめた。

こめた。今まで感じていた哀れみが消えて、烈しい怒りが燃え上がった。

**he jerked his hand away. The pity he had felt evaporated and a growing red anger surged up in its place.**

哀れみの気持が、今まで感じていた、徐々になくなり、烈しい怒りの気持が燃え上がってきた、代わりに。